

F S C 森林認証の家セミナー説明会

日 時：平成23年12月 8日（木）

12：30～16：00

場 所：天竜林業会館

1 内容

天竜国産材事業協同組合が主催した標記セミナーに参加した。

(1) 「天竜F S C 森林認証の家」構造見学会【天竜区二俣町阿蔵31-19】

- ・世界基準で建築した「天竜F S C 森林認証の家」の構造見学会。

(2) 新設備見学

- ・天竜国産材事業協同組合に導入した新設備を参加者が見学。

(3) セミナー説明会

①ゲスト講演1／速水亨氏（F S C ジャパン副会長、速水林業代表）

- ・F S Cは、世界の天然林の減少を止めるために発足。森がなくなるとは森に関係する弱者が虐げられる。違法伐採は、環境問題であり人権問題でもある。
- ・欧米ではグリーンビルディング（LEED）という建築物の評価がある。
- ・ロンドンやソチのオリンピックでは、紙や木材製品にF S Cを使用する。また、スターバックスコーヒーやスープストックトーキョー、ミニストップにおいてもF S C製品を使用している。
- ・オバマ大統領の就任式案内状やイギリスのロイヤルウエディング招待状にもF S Cロゴマークが印刷されている。
- ・「間伐材使用」では世界に向けての環境PRにはならない。（世界では、間伐をしない森林管理方法が多数あるため。）
- ・「アポロピアノ」（国産ヒノキ）はF S C製品のピアノを製作した。浜松市内でのイベントには使用可能とのこと。
- ・F S Cは取得しただけでは意味がない。取得して待っているだけではメリットは期待できない。しかし、便利で使いやすい道具。どう使うかは経営者の力。
- ・通常の営業をかけても無理だが「F S Cの話を聞いてほしい」なら道が開ける場合がある。
- ・例えば、岩手県住田町はF S C仮設住宅を建設。F S Cを上手に使ってPRし、多くの援助を集めるとともに、町が有名になった。
- ・あくまでF S Cはツール。このツール（F S C）を使いビジネスにつなげるべきで、これは実力次第。ツールがなくてはビジネスにはならない。

②ゲスト講演2／金原利幸氏（金原治山治水財団代表）

- ・財団の挑戦として業務の見直しを行い、昨年度、林業作業に特化した「明善フォレスト」を発足。
- ・今年度は6,000㎡/年。今後、更に増やしていく予定。
- ・国産材を活かした200年住宅を提案している。そのため、明善生家を昨年度改築。天竜材のモデルハウスとして活用している。
- ・また、川上から川下への一体化を進めている。

- ・当財団とコラボレーションする団体を探している。

③説明会セミナー

- ア ご挨拶と本プロジェクトの概要（天竜国産材事業協同組合 野村洋一）
- イ 天竜美林とF S C国際認証について（天竜林業研究会 鈴木将之）
- ウ F S Cを活用した天竜ブランド材とは？（天竜国産材事業協同組合 守屋秀則）
- エ 「天竜F S C森林認証の家」の事例（三立木材㈱ 河島由典）

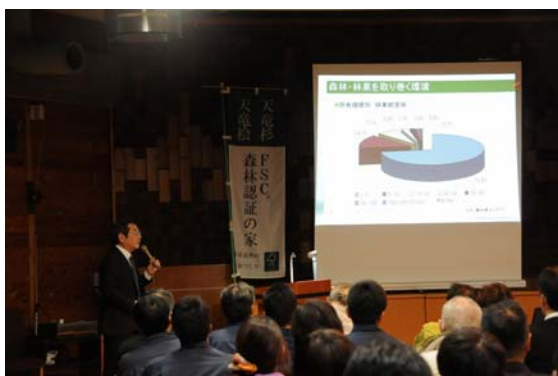
○「天竜FSC森林認証の家」構造見学会



○セミナー説明会（ゲスト講演）



速水亨氏（FSCジャパン副会長、速水林業代表）



金原利幸氏（金原治山治水財団代表）

○セミナー説明会（説明会セミナー）



天竜国産材事業協同組合 野村洋一氏



天竜林業研究会 鈴木将之氏



天竜国産材事業協同組合 守屋秀則氏



三立木材㈱ 河島由典氏